

## 令和4年度大河原町議会報告会による 意見・要望について（回答）

### （総務課）

1. 大河原を安心安全な町にして頂きたい。桜町は、前の台風19号災害で80件を超える床上床下浸水が起きた。地盤の低い地域の浸水対策に予算を振り向けて欲しい。目に見える改善をお願いしたい。

【回答】現在、東桜町には雨天時に作動する排水ポンプを設置しており、大雨の際には雨水を荒川へ排水するようになっております。一方、令和5年度には内水氾濫のシュミレーション結果を踏まえた防災マップを作成する予定となっておりますので、安心安全な町となるよう継続して浸水対策に取り組んでまいります。

### （町民生活課）

2. 福島原発事故により発生した農林系廃棄物はクリーンセンターで焼却しているが、（現在は中断）今後については、町民説明会を開くよう要望します。

【回答】平成31年3月16日に仙南2市7町の住民を対象に、仙南地域広域行政事務組合及び仙南2市7町による農林業系廃棄物焼却に係る合同住民説明会を開催し、令和元年5月15日から仙南クリーンセンターにおいて本町以外の市町からの農林業系廃棄物の受入れ焼却を開始しました。令和元年東日本台風により発生した災害廃棄物の処理を最優先で行うために、一時中断いたしました。令和2年12月30日に災害廃棄物の処理が完了したため、令和3年5月10日から受入れを再開していることから、改めて町民説明会を開催する予定はないものでございます。

仙南地域広域行政事務組合とは引き続き連絡体制を密にしながら適切な情報提供を図り、町民の皆様の不安解消に努めてまいります。

### （健康推進課）

3. 決算報告より国保の財政調整基金が5億円。この所、年間5,000万円レベルで増加している。基金を活用して国保税の税額を引き下げるべきではないか。下げて不足する時には、一般財源から補正予算で切り崩すのが良いのではないか。

⇒（会場での回答）他の自治体ではそのような動きが始まっている。やる気になればできる。5億円も必要無い。今後も議会で追求していきたい。

【回答】平成30年度の県単位化以降、県では県内全市町村の保険料（税）統一を目指しております。今後、保険料（税）の統一により、現在の税率を引き下げざるを得ない状況も考えられ、被保険者の急激な負担増とならないよう、基金の活用が想定されます。

また、被保険者一人当たりの診療費の増加により、県への事業費納付金も増額しているなど、今後も基金等の財源確保が必要であると考えております。

### (子ども家庭課)

4. 子ども食堂の運営実態はどうなっているのか教えてもらいたい。

⇒ (会場での回答) 金ヶ瀬公民館を会場に、「ひまわり亭」という名前で月に1回程度開催しているが、弁当を作っても余ってしまうことが多いようである。貧困家庭の子どもが気軽に行くかというところではなくハードルが高い現実があると思われる。

【回答】本町における子ども食堂は、町社会福祉協議会と任意団体ひまわり会による活動がございます。現在どちらもコロナ禍により食堂形式では行えていない状況ではありますが、定期的な活動を続けていただいております。

貧困対策としての子ども食堂の在り方ですが、貧困家庭の子どもが毎月利用できるかどうかというような問題は、大河原町だけに限った話だけでなく、全国的にもこの議論が大きく捉えられているという認識を持っております。

当時弁当が余っていたという実態があったとすれば、周知不足も考えられますが、この余った弁当を、どのように活用し、地域に入り込んでいくかが重要で、今後求められていくと考えているところです。

子ども食堂には、大きく「共生型食堂」と「ケア付食堂」の2種類の型が多様な大人や子どもがその場に集まり、さまざまな交流を通じて、多様な価値観の提供を促し、地域づくりへのつながりを生み人々の理解を得やすくなって広くさまざまな人達との関りが得られるものとなっております。そういった特性から恥の意識がつきにくいともいわれております。また、「ケア型」とは、総じて國千作の意味合いが強く、専門家が一人ひとりの子どもを丁寧に見つめ、より深い信頼関係を築くことが可能となり、その家庭の課題解決につながりやすいものとなっております。

子どもの貧困問題は、子どもの貧困対策だけで解決することはまず不可能と考えます。「食」を介したテーマを持って、さまざまな分野の人々が関わることで、思わぬところで活用できる社会資源が存在し、人と人とがつながるきっかけになります。その社会資源が活かされ、問題が少しずつ解決に向かうきっかけとなり、気づきにもつながることから、本町としましては、こういった地域の中で広く地道に行うか活動や居場所支援を行う団体や個人を継続して支援していきたいと考えております。

### (地域整備課)

5. 小島の公園にトイレの設置を望む。(フォルテのトイレを利用する場合がある)

【回答】公園の維持管理については、既存の遊具等を優先的に実施しているところです。トイレの新規設置は、財政的負担が大きいため、現在のところ具体的な計画はしておりません。

今後、公園の利用状況や要望等を勘察し、計画の検討をまいります。

6. 白石川右岸に盛土などしているが、水害時の対策は考えているのか。

【回答】ご指摘の盛土は、現在施工している工事の資材等の一時的な盛土だと思われます。

また、白石川右岸一体における水害時の対策や復旧方法などにつきましては、宮城県大河原土木事務所と緊密に連携を図りながら、適切に対応してまいります。

7. 台風19号の丸森と同じ量の水を流すシュミレーションをするべき。

⇒(会場での回答) 執行部に伝える。

【回答】白石川及び荒川の雑炊と想定されますが、台風19号以降、宮城県管轄のもと、国土強靱化事業による支障木の伐採や河底の浚渫等を行い、疎外率（増水）の低減に努めております。

8. 産業高校が開校する。駅前の人の流れが増えるし、通学路が人でいっぱいになるのではないかと。柴田町では歩道を広げるなどの対策をしたが、安全対策についてどのように考えているのか。

【回答】大河原産業高校の開校に伴い生徒数が増加し、JR大河原駅から学校までの通行量が増加が考えられます。対策として、駅から大河原大橋までの道路について、側溝を有蓋化し路肩を拡幅、グリーンベルトを設置し安全を確保する計画でおります。令和5年度以降、国の補助事業を要望し、早期の事業認可及び工事完成を目指してまいります。

9. 側溝の蓋を設置する場合、舗装工事の繰り返しで路面の高さと側溝の高さが合っていない状況で蓋を設置しているので、段差ができて危ない。地域住民から改善を要請しても一向に直す気配が無いので対応願う。(中島踏切付近)

⇒(会場での回答) 委員会活動で調査改善を促したい。執行部へ提言していく。

【回答】この道路（中島踏切～毛萱街道踏切）については、令和4年度に詳細設計を行い、令和5年度に国の補助事業を活用し側溝改良工事を実施する計画です。両側の側溝舗装の高さに合わせて有蓋化し路肩を拡幅、グリーンベルトを設置する予定です。令和5年度中の早期完成を目指してまいりますので、しばらくお待ちください。

10. 近くにある公園は、ある程度の広さを持った公園ではあるが、ブランコや滑り台はあるものの大型遊具がない。公園が子どもたちの遊び場になるためにも大型遊具を整備してほしい。 ⇒(会場での回答) 今後も要望を続けていく。

【回答】大型遊具の新規設置については、財政負担が大きく、また設置できる公園の利用状況や要望を把握し、行政区等とも連携しながら、計画的な整備に努めてまいります。

11. 金ヶ瀬の裏通りの道路が狭く、通学路としても危険である。火災が発生しても大

型の消防自動車は入ってこられない。また、側溝に蓋もされていないので対策を検討願う。

【回答】現在、金ケ瀬の重要通学路について、国の補助事業等を活用しながら有蓋側溝に改良し、安全確保を図っているところです。

しかし、町内には金ケ瀬に限らず道路が狭く、側溝に蓋がない箇所が多く存在しますので、引き続き計画的な側溝改良に努めてまいります。

### (商工観光課)

12. 花見の時に客が増え、トイレの利用者が増えるため、巡回などに課題はないか重点的に検討してほしい。⇒(会場での回答) 執行部に伝える。

【回答】桜まつり期間中の観光客用トイレの清掃業務につきましては、一般社団法人大河原町観光物産協会が事業者との委託契約にて執り行っているところでございます。また、令和3年からは新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、トイレの消毒作業も行っております。

同協会へトイレの利用状況等についての課題について問い合わせましたところ、以下のとおり回答をいただきましたのでご報告いたします。

利用上の大きな課題は無いものですが、①混雑時は巡回中において次の場所への移動時間がかかる。②利用マナーが悪く汚れがひどい場合を散見する とのことでございます。改善策としては、①混雑を予想した移動体制を計画する。②マナー向上の更なる周知を図るなどの対応を行っていくとのことでした。

なお、トイレの清掃等作業の委託場所は、簡易トイレが、葦神堰付近、末広橋付近、尾形橋付近、大河原大橋付近、駅前コンビニの5か所で、既存公園等（甲子公園、末広公園、保料公園、駅自由通路付近）のトイレは、町の通常委託での清掃対応としております。

消毒作業委託につきましては、上記トイレ全てを対象とし業務委託しておりますが、令和5年の桜まつりにおいても、現時点では清掃・消毒とも同様の対応を計画しているとのことでございます。

町といたしましても、桜まつり本部、観光物産協会及び、委託業者との連絡体制を密にし、期間中の業務内容について情報の共有を図り、混雑時の近隣地域への影響・要望等への迅速な対応を行えるようにするとともに、観光客に楽しんでいただけるようなまつり運営に努めてまいります。

### (教育総務課)

13. GIGA とは何か。また、スクールサポートスタッフはどういう業務で、何名配置されているのか教えてほしい。

【回答】GIGA とは、「Global and Innobation Gateway for All」の略で、「全ての児童・生徒のための世界に繋がる革新的な扉を」という意味が込められています。

GIGA スクール構想の目的は、子どもたち一人ひとりにたいして個別最適化された創造性を育む教育の実施や、情報通信や技術面を含めた ICT 環境の実現を目指すことです。

また、スクールサポートスタッフとは、新型コロナウイルス感染症対策強化に対応のため、教師等の業務をサポートする会計年度任用職員であり、主な校内の消毒作業、換気、給食は以前の手伝いやその他教員の業務補助を行います。金ケ瀬中学校を除いた4校に各1名ずつ配置している状況です。

14. タブレットが子供たちに貸与されているが、家庭での Wi-Fi 環境のない家庭にはどのような配慮がされているのか教えてほしい。

⇒(会場での回答) タブレットは原則、家庭には持ち帰らせていない。ただし臨時休校等には持ち帰らせてオンラインでの授業ができるようにするため、Wi-Fi 環境がない家庭には学校で貸与している。

【回答】令和4年度より段階的に家庭へタブレット端末を持ち帰っての学習を開始しております。その中でインターネット接続環境がない家庭につきましては、町でモバイル Wi-Fi ルーターを貸与して、タブレット端末を使用して学習できる環境を整備しております。

#### (生涯学習課)

15. できれば総合体育館、えずこホールに外付けのトイレを設置して欲しい

【回答】所管する総合体育館につきましては回答いたします。

総合体育館の屋外（ターゲットバードゴルフやペタンク等）利用者には、外付けのトイレがないことをご不便をおかけしておりますが、引き続き施設内のトイレご利用頂きますようお願いいたします。

また、閉館時間以降の施設の利用は想定しておりませんので、新たな外付けのトイレの設置は考えていないものであります。

16. パークゴルフ場の運営が業務委託と聞いてはいるが、生涯学習課にその後の進展を聞いても、未だに決まっていないという。ゴルフ場に降りる階段の手すりもなく、トイレも大分離れている。生涯学習課は動いていない。どうしてなのか教えてほしい。  
⇒(会場での回答)このような指摘があることを町に伝えていく。

【回答】パークゴルフ場の整備・運営の説明が足りなかったことにつきまして、ご心配をおかけして申し訳ございません。また、『生涯学習課では動いていない』とのご指摘につきましては、工事概要や委託内容の詳細がはっきりと決まらないうちは、町民の皆様からのお問い合わせにお答えすることができなかつた為、そのような回答となってしまったことを深くお詫び申し上げます。

始めに、「業務委託」につきましては、来年度発注の事業でございますので、令和5年3月定

例会に令和5年度予算（案）として委託費を提出いたします。町議会での予算審議及び議決を頂きましたら、具体的に業務委託の発注を行うものでございます。発注につきましては、天然芝のコース管理や大会の運営等に精通している事業者を選定していきたいと考えておりますので、ご理解をおねがいたします。

次に、設備に関しましては、工事が進捗しコース状況が確認できた時点で「大河原パークゴルフ協会」に現地立会いをお願いしてご意見を頂いております。こういったご意見・ご要望を踏まえて、工事内容の見直しを行い、令和5年1月に工事請負契約の変更契約を行っております。内容といたしましては、会談への手摺設置。階段からの通路の滑り止め舗装。防球ネットの増設などを行い、より安全で利用しやすい施設と寝るよう進めております。

なお、トイレにつきましては、河川区域内への設置となることを留意し、増水時に撤去することが可能な仮設型トイレを河川法による制約の中で設置するものでございます。昨年度設置した中央部の常設トイレと併用してご利用をご案内してまいります。

引き続き、パークゴルフ場整備工事を無事完了させるよう取り組んでまいります。

17. 金ヶ瀬公民館は中央公民館並みに土足で入れるような施設にしてもらいたい。また、トイレは時代遅れのものでひどい。⇒(会場での回答)しっかり町に伝える。

【回答】土足での入館となりますと、清掃業務委託料が増額となりますことから、検討させていただきます。また、トイレにつきましては、令和2年度に和式から様式に改修工事をしてありますが、全体的に古いのが現状です。それを踏まえて検討させていただきます。

#### (上下水道課)

18. 下水管の内面コーティング工事が行われているが、根本的に口径が不足。大雨で雨水が入ると家庭の下水口から逆流する。気候変動で降る量が変わる。今後は、余裕をもったものに交換を望む。冠水した場合逆流でマンホールの蓋が外れ、非常に危険。ストッパー付きの蓋への交換も望む。

⇒(会場での回答)長い時間がかかるが交換されていくと思う。

【回答】町の下水道は分流式であり、トイレや台所の汚水は排水管へ、雨水は道路の側溝に流れるようになっておりますが、大雨などにより汚水管に雨水が流入していることから、その原因を調査し改善に向け対策を取ってまいります。なお、汚水管は計画流量の2倍の余裕を持って設置している為、内面コーティング工事による口径不足はないものと考えております。

また、マンホール蓋の交換については、浸水管所などを重点に毎年行っており m 須賀、今後も計画的に交換を行ってまいります。